

「改定入管法」施行前
拡大学習会

どうなる？ これからの日本の 移民社会

日時：2019年3月30日（土）

午後1時30分から

会場：イーブルなごや

名古屋市中区大井町7-25
地下鉄名城線「東別院」下車
1番出口から東へ徒歩3分

第2研修室（2階）

講師：鳥井一平さん

NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）代表理事。外国人技能実習生権利ネットワーク運営委員。全統一労働組合執行委員。現代の奴隷制と批判される技能実習制度を迫及した活動が評価され、2013年度アメリカ国務省から人身売買と闘うヒーローの一人に選ばれる。

資料代：300円

「骨太の方針二〇一八」が昨年六月に閣議決定され、政府が「外国人材」の受入れ拡大を打ち出したわずか半年後の一月には新たに「特定技能」の在留資格を創設する改定入管法が成立しました。法の施行日の今年四月一日は目前に迫っています。日本政府は外国人労働者を正規に受け入れることを長年拒み続けながら、名ばかり技術移転の「技能実習制度」でお茶を濁してきました。現在日本に暮らす外国人は二五〇万人を超え、実質的な移民人口は世界第四位に位置しています。この現実をしておお、「移民政策」ではないと現政権は公言してはばかりません。

昨年の骨太の方針を、あまりに拙速と批判し、移民当事者や市民の声を国会に届けてきた移住連代表理事の鳥井一平さんからロビーイングの報告、「新たな外国人材受入れ制度」の情報提供を受けながら、予想される施行後の移住者支援からあるべき移民政策について話しあいます。

主催：東海在日外国人支援ネットワーク
〒466-0815 名古屋市昭和区山手通5-33-1
杉浦医院4F 名古屋労災職業病研究会内
電話/FAX：052-837-75420